

舞鶴引揚記念館全国巡回展 in 福岡

「引き揚げの記憶と平和への願いを世界へ！未来へ！」

日時 平成29年11月23日(木・祝)～28日(火)

午前9時～午後9時 23日のみ午後1時～

会場

福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)
1階エントランスホール及び3階交流ひろば

入場料
無料

全国巡回展
福岡開催記念
ミュージアムトーク
NPO法人「舞鶴・引揚語りの会」会員で
博多港へ引き揚げた体験者のお話
11月23日(木・祝) ①開会式後13時15分～ ②17時30分～
11月24日(金) ③11時～ ④13時～



舞鶴引揚記念館
MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM

〒625-0133 京都府舞鶴市字平1584番地
TEL.0773-68-0836 FAX.0773-68-0370
URL:m-hikiage-museum.jp



平成29年度 文化庁
地域の核となる美術館
歴史博物館支援事業

(主催) 京都府舞鶴市・舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会
(共催) 福岡市(福岡市保健福祉局総務課 TEL.092-711-4493 FAX.092-733-5587)

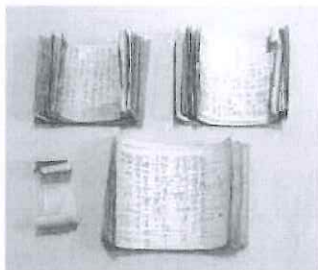
舞鶴引揚記念館全国巡回展 in 福岡

本巡回展は、舞鶴市が所蔵する「シベリア抑留」と「引揚事業」に関する資料が平成27年10月にユネスコ世界記憶遺産へ登録されたことを契機として、全国の引揚港との連携、協力のもと、薄れゆく引き揚げの歴史と平和の願いを国内外に発信する事を目的に開催。

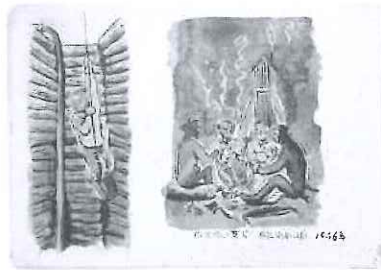
第2次大戦の終結に伴い、旧ソ連軍管轄下にあった60万人を超える日本人が、シベリアをはじめ旧ソ連全土の1,800か所以上の収容所に抑留され、強制労働を強いられた史実や、海外に残された多くの軍人、民間人を帰国させるため、福岡市や舞鶴市などの引揚港に指定されたまちが、海外からの引揚者約630万人を受け入れた史実について、絵画や写真、解説パネル等で紹介します。

舞鶴引揚記念館展示資料

世界記憶遺産に登録された『白樺日誌』や抑留当時の衣類、生活用品など、過酷な状況を生き抜いた証の資料を紹介します。



白樺日誌



日本に持ち帰った「スケッチブック」

博多港引揚に関する特別展示資料

日本最大級の引揚港であった博多港の引き揚げの歴史を物語る、貴重な写真パネルを展示します。

※福岡市市民福祉プラザ1階ホール横ホワイエでは、資料展「引揚港・博多」を常設しておりますので、あわせてご覧ください。



焼け野原になった博多



朝鮮半島からの復員兵を乗せて博多港に接岸する旧日本軍の上陸用船艇

福岡市 市民福祉プラザへのアクセス

〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸3丁目3番39号

【地下鉄】

福岡市地下鉄空港線「唐人町」駅
4番出口から徒歩約7分

【バス】

西鉄バス「黒門」バス停下車 徒歩約5分
「福大若葉高校前」バス停下車 すぐ

【車】

地下駐車場 30分100円

※当駐車場は障がい者の方の利用優先となりますので、近隣の有料駐車場をご利用ください。



〈舞鶴引揚記念館について〉

舞鶴引揚記念館は、昭和63年(1988)、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生の再スタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受けた舞鶴市が設立したものです。日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後世に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。

